

母を亡くした時、僕は遺骨を食べたいと思った。(2018)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 108分

初公開日 2019/02/22

公開情報 アスミック・エース

映倫 G

【キャッチコピー】

それくらい、愛してる。

【解説】

『情熱大陸への執拗な情熱』『宇宙戦艦ティラミス』などの人気漫画家・宮川サトシの同名エッセイ漫画を「さよなら溪谷」「日日是好日」の大森立嗣監督が映画化した感動のヒューマン・ドラマ。愛する母親の突然のガン告知に戸惑いつつも懸命に看病を続ける息子の姿を通して、母と息子の愛と絆を描く。主演は「愛しのアイリーン」の安田顕と「あやしい彼女」の倍賞美津子。共演に松下奈緒、村上淳、石橋蓮司。

優しいけれど少し頼りないサトシは、明るくパワフルで自分に無償の愛を注いでくれる母が大好きだった。塾講師をしながら漫画家を目指す30代後半のサトシは、そんな母との日常がずっと続くと信じて疑わなかった。ところがある日、母は突然ガンを宣告されてしまう。なかなか現実を受け止められないサトシだったが、恋人の真里に励まされながら母のために奔走していく。しかしやがて、母は静かに旅立っていった。サトシはすっかり生きる気力を失い、父と兄もそれぞれに悲しみから立ち直れない日々が続くのだが…。

【クレジット】

監督

大森立嗣

製作

間宮登良松

村田嘉邦

安井邦好

鈴木仁行

板東浩二

高木司

樋泉実

佐野真之

荒木宏幸

伊藤亜由美

稲村甲一

吉野達也

前嶋宏

エグゼクティブプロデューサー

加藤和夫

プロデューサー

小林智浩

川崎岳

ラインプロデューサー

伊達真人

アソシエイトプロデューサー	田坂公章		
原作	宮川サトシ		『母を亡くした時、僕は遺骨を食べたいと思った。』（新潮社刊）
脚本	大森立嗣		
撮影	槇憲治		
美術	安宅紀史		
	山本直輝		
衣裳	瀬瀬春樹		
	立花文乃		
編集	早野亮		
キャスティング	田端利江		
音響効果	伊藤進一		
音楽	大友良英		
主題歌	BEGIN	BEGIN	『君の歌はワルツ』
照明	野村直樹		
録音	赤澤靖大		
ヘアメイク	豊川京子		
VFXディレクター	須賀努		
タイトルデザイン	赤松陽構造		
助監督	小南敏也		
カラリスト	小林哲夫		
出演	安田顕	宮川サトシ	
	倍賞美津子	宮川明子	
	松下奈緒	真里	
	村上淳	祐一	
	石橋蓮司	利明	
	込江海翔		
	加賀谷光輝		
	中沢青六		
	原田麻由		
	信太昌之		
	水澤紳吾		
	中島亜梨沙		
	山林真紀		
	戸田昌宏		
	上川周作		
	篠田諒		
	鈴木晋介		
	荒巻全紀		